

【3学期始業式】仲間と共に限界突破！

新年明けましておめでとうございます。2025年が始まりました。それぞれ、新たな抱負を持って新年を迎えたことと思います。穏やかな新年を共に迎えられたことに、まず感謝いたします。

一方、昨年、能登半島地震の影響で、今も厳しい状況にありながら復興に向けて取り組んでいる人々がいます。昨日も中国内陸部チベット自治区でマグニチュード6.8の地震が発生し被害が出ています。また、政治的な紛争によって命の危機にさらされ、常に食糧問題や感染症の問題を抱えている人々もいます。このような状況を考えると、心が痛みます。私たちにできることを考え、行動していきましょう。

さて、1月4日、5日に行われた徳島駅伝において、徳島市が2年ぶりの優勝を果たしました。本校からも中学生代表としてチームに加わり、優勝の原動力となった選手がいます。とても誇らしいことです。素晴らしい活躍やその努力に拍手を送りたいと思います。

冬休み前に「すぐやる、必ずやる、とことんやる」というキーフレーズを胸に、各自目標に向かって取り組んで欲しいとお願いしましたが、皆さんの達成状況はいかがでしょう？達成感も改善点もあると思いますが、それらを活かし今後のさらなる成長につなげて欲しいと思います。

本日は年頭にあたり、またこれから迎える3学期が学年の総仕上げの期間であることを踏まえ、皆さんに一つだけ意識して欲しいことがあります。それは「思いやりの心」です。どんな状況でも「相手の立場に立って思いやる気持ちを持ち、その気持ちに従って行動する」ことを心がけてください。皆さんはこれまでの経験から、周囲の人々の協力やサポートが大きな力になることを知っていると思います。クラスメイトや学年の友達、部活の仲間、保護者の方々、先生方との関係が、3月に一つの区切りを迎えます。温かい人間関係や仲間との絆を持てるように、周囲への心配りをこれまで以上に意識して過ごしてほしいと思います。

南中には、素晴らしい挨拶をはじめ、いつも素直で、明るく励まし合う校風があります。周囲への配慮や優しさ、気配りで学校全体の心の豊かさを高め、より充実した学校生活を送りましょう。心豊かな3学期を期待して、始業式の挨拶とします。

令和7年1月8日

徳島市南部中学校長 滝川 尚



